

元市議会議長で まともな市政を取り戻そう!



市民の命のため 新しい市長を

精神科医
香山リカさん

名古屋市民ではない私ですが、歴史修正主義をあたかも市民の総意のように発言する現市長に驚き、名古屋市政に興味を持ちました。するとさまざまな問題が見えてきて、とりわけ医療・介護の切り捨てとその結果のコロナ対策の遅れのひどさが目につきました。

一事が万事。

歴史を否定し改ざんする人物に、市政はまかせられません。名古屋市民の命のために、新しい市長を選びましょう!



常識の通じる方を 名古屋のトップに

新社会党・安城市議
石川つばささん

佐賀での署名偽造を契機に、既に亡くなった人の名前が書かれるなど、古い名簿が利用されたことが明らかになりました。私自身も、「もしかしたら現住所ではなく、昔の住所で勝手に署名されていないだろうか?」と疑念を抱き、かつて住んでいた西尾市の選挙管理委員会に開示請求を行いました。するとビックリ、10年以上前の住所で名前が使われていたのです。現市長はリコール運動の前面に立って旗振り役を務めたにもかかわらず、不正発覚後は一転して「私は中心人物ではない」などと第三者を決め込んでいます。個別の意見や主張の違いをこえて、常識の通じる方に県都・名古屋のトップを担っていただきたいと思えます。



コロナ対策充実の 市政誕生を

南生協病院名誉院長
板津慶幸さん

新型コロナウイルス感染の第4波が襲来している現在、医療現場にいる者としての要望です。①変異ウイルスが拡がっており、無症状者からのクラスターを防ぐためには、PCR検査をイベント的ではなく地域的に拡大すること②フェイスシールド・ガウン・グローブなどの防御具が一定支援はあるが全く不足で使用制限があり何とかしてほしい③PCR行政検査の指示から入院先の手配までは保健所が頼り、保健所・保健センターの充実を④コロナ病床が市内で満床状態の時に県との連携がよくないのを感じたが改善を。

新型コロナ対策に力を入れなければならない時に、リコール署名の先頭に立って市民を煽っていた現市長はごめんです。市民の声が活かされ、新型コロナ対策が充実する新しい市政の誕生を願っています。



表現者を萎縮させた現市長 「どっちもどっち」ではない

シンガーソングライター 五島良子さん

あの時、私の見つめる先に現市長がいた。平和の少女像を挟み、私が見つめる彼は小さな少女像を見下ろしていた。果たして胸中に戦時性暴力を許さぬヒューマンイズムや、女性差別への関心はあったのだろうか? いや、作品から何を得ようか、そこまでは自由。しかし、その後現市長が憎悪煽動し、街頭でヘイトスピーチをする人達と一緒に騒いだのは、表現者の端くれである私には恐怖でした。人気者の市長の行動が、どれ程私達表現者を萎縮させたことか? 表現の自由に検閲をちらつかせる一方、ほうぼうから来名した差別主義者には好き放題。この危うい感覚の持主と、ライバルの人を比べて「どっちもどっち」なんて、私にはとても言えない。



市長を変える!名古屋を変える!

弁護士・元愛知県議(自民党)
梅村忠直さん

43.5万人の署名中83%が無効であった『リコール署名偽造』事件は、民主主義を破壊する暴挙です。

現市長は、高須氏に資金・活動両面でリコール運動の中核となるよう依頼し、高須代表以上に声を張り上げて街宣活動をし、関係書類等には代表と横並びで顔写真を掲載、近隣に設置された事務所、事務局長とは緊密な関係、10年前のリコール受任者名簿3万人分を提供するなど、中心人物としてリコール運動に関わりました。

暴挙の主犯格として責任を負うべきは明らかです。

民主主義の破壊者は、名古屋市長として不適格です。民主主義を取り戻し、名古屋を変えるため、市長を変えましょう。

政党・市民の大同団結で元議長を市長に

リコールの不正が明らかになり、市議会では自民、公明、民主、共産の4会派が協力して現市長に対してリコール問題等について追及する、これまでにない状況が生まれました。こうしたもとで、日本共産党と元議長とで、「現市長の再選を阻止し、壊された民主主義と傷つけられた市民の名誉を取り戻す」こと、「コロナ感染から市民の命と暮らし、福祉を守る」という2点で署名して合意しました。こうした経緯で、日本共産党は今度の政治戦で党派をこえて、元議長を自主的に支援しています。

元議長 リコール不正を追及

元議長は議会で知事リコール不正の追及をリード。本会議での質問で現市長の責任を浮き彫りにしました。

元議長の質問動画を
ご覧ください▼

